

北九州市教委

夜間学級への運営費補助

来年度も250万円支給へ

北九州市教委は2日、市議会本会議で、市内でボランティアが運営する二つの夜間学級への運営費補助について「徐々に成果が上がってきた。運営団体と相談しながら、支援をぜひ継続したい」として、来年度も今年度と同じ各250万円を支出する考えを明らかにした。市教委は05年度に補助を始めた際「5年後に事業の評価・検証をする」とし、今年度が最終年度だった。

長野敏彦議員（ハートフル北九州）の質問に柏木修教育長が答えた。「いずれの授業も年間200日以上。生徒たちが漢字検定に合格したり、ホームヘルパーの資格を取ったりするなどの成果が出ており、運営費補助の成果は徐々に上がっている」と説明した。

市教委企画課による

と、小倉南区と八幡西区でボランティアが運営している夜間学級に1年度に150万円、09年度に250万円の補助金を支出している。

【佐藤敬一】

北九州 市議会だより

NO.188



◇市議会のホームページで「市議会だより」や本会誌の「会報」や「インターネット中継」などがご覧いただけます。
アドレスは<http://www.city.kitakyushu.jp/page/gkai/>です。

夜間学級への どうなるの？

市民ボランティアが主体となって運営する夜間学級は、市との共同事業が始まって5年が経過するが、5年間の総括と今後の事業継続に向けた取り組みについて尋ねる。

教育長

夜間学級は、市民ボランティアが主体の夜間学級運営委員会が、穴生小学校と城南中学校の2カ所で運営し、高齢者を中心に50名を超える生徒が勉強に取り組んでいる。市としては、「いつでも・どこでも・誰でも」学ぶことができる生涯学習の一環として、運営団体に対して財政支援のほか、学校施設の使用や市政だよりによるPRなどの支援を行ってきた。先日、運営団体から5年間の活動報告書が提出され、各種資格の取得や高校進学等の学習成果が報告された。また、運営費補助の増額により、学級運営が向上した等、一定の評価を得ている。

この補助の実施については、徐々に成果が上がってきていると考えており、今後も引き続き運営団体と相談しながら支援を継続したい。